

法遍寺 から大切な 皆様へ

2020年11月1日

日蓮正宗 年間方針

御命題達成の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

人材育成と折伏実践

年間実践テーマ

① 勤行・唱題で歓喜の実践

境涯開く御題目を
正しい姿勢で実践

② 異体同心の折伏で

広布へ前進

僧俗和合

講中一結

③ 御講と登山の推進で

人材育成

罪障消滅

一生成仏

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池 6075-1

(TEL:0561-54-9226)

相談無料



2020年10月11日の御報恩御講の様子



慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は、静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日頭上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人様の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

① 講中のみなさまへ

本宗寺院は、所属檀信徒からの御供養によってのみ支えられており、御本尊からのお下がり賜りますこと、衷心より感謝申し上げます。大聖人様の檀越に、新池殿という静岡袋井に住む幕府直参の武士で、有名な『新池御書』を賜った方がおります。この方は亡き一子の追善供養のために米三石を御供養されるなど、何度も三百余里の険路を越え、大聖人様にお目通りをされました。大聖人様は、新池殿に「確信しなさい。法華経を知る僧を供養するならば悪道にいかない。(中略)この御供養の功德は法華経と釈尊の御恩を報じるものである」(御書 1456~1457 頁 趣意)と仰せになりました。御供養は真の仏法への報恩行であり、それ即ち信心そのものと拝します。今月は当山で御会式が奉修されます。仏恩報謝の参詣をさせていただきます。

② 創価学会に籍を置くみなさまへ(創価学会破門の経緯を知らない方へ その3)

池田名誉会長は、昭和52年路線の責任をとって日蓮正宗信徒の代表である総講頭を辞任し、その後、日頭上人より再任された人です。その立場にある人が日頭上人や宗門を誹謗することなど、全く考えられない宗務院は、池田氏の言動に対し軽々に取り上げることができませんでした。直接宗門に対する批判が始まったのは、平成2年7月17日の宗務院と学会の連絡会議の時です。この会議の冒頭において、秋谷会長より「言わせて頂く」として、口々に宗門や僧侶の批判をはじめ、あろうことか御法主上人の尊厳をおかすような発言まで行なってきました。そして言いたいだけ言うと「今日はこれまで」と席を立てて帰ってしまったのです。宗門を配下に置くことを目論み、それがだめなら独立する路線が再び動き出したのです。(次号へ続く)

③ 「信心はこりごりだ」と言うあなたへ

そのあなたに尋ねます。いったい誰が悪かったか。日蓮大聖人様は、『撰時抄』に「人が路を作って、その路に迷う者があつたとしても、作った人の罪ではない。また優れた医師が病人に薬を与えるに、病人が嫌って服まずに死んだとしても、医師の罪とは言えない。(御書 835 頁趣意)と述べています。あなたはこの世で初めて邪宗に縁を持ったように思うかも知れません。しかし、あなたの生命の本源をみれば、その流転の途上において、常に邪宗教に関与し、仏の真実の教えを誹謗してきたのであり、その縁により、この世でまた間違つた宗教に入り込み、罪障を重ねたのです。日蓮大聖人様は「一切の不幸は邪教によって起こる」と喝破されています。日蓮正宗の教えを落ち着いて聞いて下さい。毒を薬に変える道がここにあります。お待ちしています。